

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立蓮田特別支援学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	グランドデザインを踏まえ、県下唯一の病弱教育・肢体不自由教育部門併置校として目指す方向が明確に示されている学校像である。学校の置かれた状況や課題を的確に把握した上で、学校の特色を踏まえた適切かつ明瞭な学校像が設定されており、児童生徒や保護者などの期待に十分応えるものとなっている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえて、学校の取り組むべき方向が四つの柱として重点目標が設定されている。取り組むべき課題が明確かつ具体的に示されており「児童生徒一人一人を伸ばす授業づくり」など教育活動の指針となるものとなっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	企画委員会が各分掌の取り組む具体的な目標を職員会議で明示するなど、企画委員会と分掌・学部等が連携し、学校自己評価システムが運営されている。今年度から企画委員会や職員会議の運営方法を改善し、組織的かつ効率的に進めており、分掌・学部等の意見などがうまく活用される組織体制が整えられている。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	方策と評価指標を設定するに当たり、企画委員会や職員会議などで教職員間の共通理解が図られている。評価指標を教職員間で達成イメージを共有できるものとなるように数値化した指標もあり、方策の達成状況を評価するための工夫が実施されている。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は企画委員会や職員会議を活用し、学校の課題等に関する教職員の共通理解を図り、学校自己評価システムを生かした学校経営に取り組もうとしている。校長が状況に即して的確にリーダーシップを発揮し、課題の解決の方向を示している。その達成に向けて教職員全体で組織的な取組を展開している。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	保護者アンケートや学校関係者評価などを基に、取組を検証するための情報収集に努めている。前年度の課題を次年度の目標・方策に生かしているが、更に分掌・学部等と学校全体を連携させ、より組織的なPDCAサイクルを確立していただきたい。	
特記事項			